



乳がんを知ろう

ピンクリボン通信 vol.8



乳がんの症状にはどんなものがあるのかしら。

早期の乳がんでは自覚症状がほとんどありませんが、進行とともに様々な症状が現れることがあります。本号では、乳がんが生じる症状をいくつかご紹介します。

乳房の痛み

女性ホルモンの影響等で、月経前に乳房が張って痛みを感じる事があります。しかし月経周期に関係なく長期間にわたり痛みが生じる場合には注意が必要です。

しこりと硬さ

乳腺に生じるしこりの約90%を占める良性のしこりは、比較的に弾力性がありコロコロと動く傾向が見られます。これに対し乳がんのしこりは、ゴリっとして硬く、動かないのが特徴です。

乳頭からの分泌

乳頭をつまんで、どちらか片方の乳頭(乳首)から、血液の混じったような茶褐色の分泌物が出る場合は降圧剤等の薬の副作用の場合もありますが、乳がんの可能性もあり、注意が必要です。

乳首の変化

乳がんでは乳首が極端にへこんだり、引きつれたり、左右の乳首の高さが違うといった症状が出る場合があります。

腕のしびれ

乳がんが脇の下のリンパ節に転移することで、神経が圧迫されて腕がしびれる場合があります。

乳房のえくぼ

がんが進行して悪化した時に、乳房にえくぼのようなへこみができることがあります。

乳頭や乳輪部のただれ

乳頭や乳輪部にも湿疹やただれができることがあります。そのただれが治りにくく、かさぶたとただれを繰り返す場合は、早期乳がんの一つであるPaget病の可能性もあります。

皮膚の変化

がんが皮下のリンパ管に浸潤すると、皮膚が赤っぽくなって腫れたり、オレンジ皮のような凹凸が現れたりすることがあります。

これらの症状にどれか一つでも気付いたら、自己判断で終わらせずに専門医に相談して必要な検査を受けることが大切です。

